

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩手理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岩手理容美容専門学校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程 (R7年度生)	理容科	夜・通信	35 単位	6 単位	
	美容科	夜・通信	35 単位	6 単位	
専門課程 (R8年度生)	理容科	夜・通信	35 単位	7 単位	
	美容科	夜・通信	35 単位	7 単位	
専門課程	美容修得者 理容科	夜・通信	27 単位	4 単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで授業科目一覧を公開 <https://www.iwateribi.ac.jp/info/index.html>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岩手理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岩手理容美容専門学校

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで理事名簿を公開 <https://www.iwateribi.ac.jp/info/index.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	有限会社役員	2025.4.1～ 2028.3.31	法人運営に対する チェック機能
非常勤	株式会社役員	2025.4.1～ 2028.3.31	法人運営に対する チェック機能
(備考)			

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩手理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岩手理容美容専門学校

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校で閲覧できます
収支計算書又は損益計算書	学校で閲覧できます
財産目録	学校で閲覧できます
事業報告書	https://www.iwateribi.ac.jp//info/index.html
監事による監査報告（書）	学校で閲覧できます

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67 単位	20 単位		47 単位		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
16 人		0 人	0 人	3 人	7 人	10 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 厚生労働大臣認可の理容師美容師養成施設であるため、教科科目についてそのほとんどは理容師美容師養成施設指定規則に則って履修している。本校では教育課程編成委員会を設置し、その意見・要望の多くを自由裁量度の高い選択科目に反映させている。また、作成においては学内会議により、授業科目の設定・内容についての検討・検証に基づき各授業を担当する教員により作成を行っている。 シラバスの公表時期は前年度末までにホームページに掲載し、学生が閲覧できるようにしている。
成績評価の基準・方法
（概要） 【客観的な指標の具体的な内容】 ・1年間を2学期に分けて授業展開し、各履修科目について前期は期末試験、1年次後期は年度末試験、2年次後期は卒業試験を実施している。（100点満点） ・各試験における履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。（100点満点で点数化）

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手理容美容専門学校
設置者名	学校法人 岩手理容美容専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 厚生労働大臣認可の理容師美容師養成施設であるため、教科科目についてそのほとんどは理容師美容師養成施設指定規則に則って履修している。本校では教育課程編成委員会を設置し、その意見・要望の多くを自由裁量度の高い選択科目に反映させている。また、作成においては学内会議により授業科目の設定・内容についての検討・検証に基づき各授業を担当する教員により作成を行っている。 シラバスの公表時期は前年度末までにホームページに掲載し、学生が閲覧できるようにしている。	
授業計画書の公表方法	https://www.iwateribi.ac.jp/info/index.html
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。 (授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 欠席が出席すべき時間数の、講義を伴う教科科目においては1/3, 実習を伴う教科科目にあつては1/5を超える者については卒業を認定しない。但し、この基準を超えた場合は十分な補習等を行った上で規定を満たすことで卒業を認める。国家試験学科科目と同様に及第点を60点以上(100点満点)、及第点に満たない場合は追試験、補習授業を行っている。 実技形態の科目は実技試験を実施。学科科目と同様に及第点を60点以上(100点満点)、及第点に満たない場合は追試験、補習授業を行っている。 その他、選択科目については出席率、課題作業等に学修成果を評価し、成績判定を行っている。	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 【客観的な指標の具体的な内容】 ・1年間を2学期に分けて授業展開し、各履修科目については前期は期末試験、1年次後期は年度末試験、2年次後期学期は卒業試験を実施している(100点満点) ・各試験における履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。 (100点満点で点数化) 【客観的な指標の適切な実施状況】 上記の客観的な指標の算出方法により数値を算出して、成績分布状況の把握等を適切に実施している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	HPで成績および成績の分布状況を公開 https://www.iwateribi.ac.jp/info/index.html
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校では人間力と技術力を兼ね備えた人材を育成するため、以下のような能力を身に付け所定の単位を修得した学生に卒業が認定されます。 1. 2年間のカリキュラム履修を通し職業人として将来の土台となる技術・接客を身に付けた者。 2. 衛生を重視する職業人としての自覚と認識を深め理容師・美容師として健全な社会生活を営むために必要な生活習慣と能力を身に付けた者。 3. 実習を通して理論と実践の一体化を図り理容師・美容師として実践的能力を身に付けた者。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	HPで成績および成績の分布状況を公開 https://www.iwateribi.ac.jp/info/index.html